

令和7年度

# こどもたちに 読んでほしい200冊 新選図書目録(52冊)

幼児の部

小学校1年生の部

小学校2年生の部

## ぼくのペンギンはどこ?

サム・アッシャー(作、絵)



[徳間書店]  
1,870円

家中探しても見つからなかつたぬいぐるみのペンギンを探しに、おじいちゃんとまだ見ぬ地下室へ。そこで、次から次へと探していくと、たどり着いたのはなんと海! 帆船を作り、海賊船と出会い、着いて行くと…。おじいちゃんと少年の心躍る冒險の物語絵本。

## とって

オオノ・マユミ(作)



[エンブックス]  
1,320円

「スプーンとて」似たようなものが並ぶページをめくると、使用場面が描かれており、正解や使い方が分かる楽しさがあり、ごっこ遊びも楽しむことができます。自分でやりたい気持ちが芽生えてきた赤ちゃんにぴたりな、やり取りが楽しくなる絵本。

## チョウになりたい

マルク・マジュスキ(作、絵)



[金の星社]  
1,760円

部屋中を散らしながら夢中で作ったのは、背中に付ける蝶の羽。男の子はチョウになっている自分が一番好き。でも、からかうつくりくる子たちがいて、嫌になることも。応援してくれる人がいれば、自分の「好き」を大事にする力となり、勇気をもらえる絵本。

## となりのじいちゃん かんさつにっき

ななもり さちこ(作)  
たまゑ(絵)



[理論社]  
1,485円

そうしたは夏休みの宿題の「あさがお日記」をつけていたが、朝顔を枯らしてしまい、困った末に隣家の朝顔を観察することに。しかし、隣のじいちゃんが怪しくて…。そうたとじいちゃんのユーモア溢れる交流を描いた物語。観察日記の文章もくすりと笑えて秀逸。

## ぞのうんちはまわる

重松 彌佐(文)  
しろべこり(絵)



[新日本出版社]  
1,540円

札幌円山動物園には4頭の象と1頭の赤ちゃん象が暮らしています。4頭の象が出す1日約400kgものうんちは、発酵させて堆肥となり、園内や近隣の農家や小学校で植物の栄養になって、採れた野菜が動物たちの餌となります。動物園のSDGsを伝える絵本。

## くじらのいるこみち

塩野 米松(文)  
はた こうしろう(絵)



[農山漁村文化協会]  
1,650円

「へたさん」が大事に守ってきたのは、家の前の土の道。周りは舗装された道ばかりだけど、へたさんの家の前には、花が咲き虫たちも集まっている。引っ越ししてきたゆかちゃんも水たまりができる土の道が大好き。身近な自然の中で、想像を広げ遊びたくなる絵本。

公益財団法人 北海道青少年育成協会

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目 第二道通ビル6階  
TEL.(011)231-6451 FAX.(011)231-6457  
ホームページ: <http://www.ikuseikyo.jp/> Eメール: [youth@ikuseikyo.jp](mailto:youth@ikuseikyo.jp)

選定=公益財団法人北海道青少年育成協会

選定協力=北海道学校図書館協会・北海道読書推進運動協議会

## はたらくるまちはたけしごと

[ひさかたチャイルド]  
シェリー・ダスキー・リンカー(文)  
AG・フォード(絵)  
1,650円



農場を舞台に、働く車たちが力を合わせて、動物の小屋を建て、畑を耕し、種をまき、収穫する営みが生き生きと描かれています。春夏秋冬、豊かな自然の中で、それぞれの役割を果たし働く姿から、育てたり作り上げたりする楽しさや働く喜びが伝わってくる絵本。

## ぞうちんとばんつのくに

[KADOKAWA]  
ゆまよ(作画・構成)  
石嶺 みき(原作・監修)  
1,705円



おしつこの仕方や洗い方、扱い方、大事なプライベートゾーンであることなど、性やおちんちんの正しい知識をパンツの国の「ぞうちん」が分かりやすく教えてくれます。泌尿生殖器ケア教育の専門家が、小さな男の子とお母さんのために作った性教育の絵本。

## じゅんばん じゅんばん じゅんばんですよ

[大日本図書]  
accototo ふくだとしお+あきこ(作)  
1,650円



季節は少しずつ移り変わり、生命は「じゅんばん、じゅんばん、じゅんばんですよ」と美しく変化していきます。数えきれない年月の中で繰り返されてきた地球の営みが、清々しい絵で言葉少なめに描かれており、四季折々の情緒が優しく伝わってくる絵本。

## タケシのせかい

室井 滋(文)  
長谷川 義史(絵)

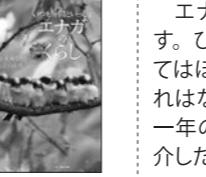
[アリス館]

1,650円

秘密の箱を開けると、そこにはパパからの手紙がありました。主人公タケシはパパからの質問に答えていくうちに、自分の周りの人や友達などを認め合うことに気づいていきます。「ウェルビーイング」の考え方を楽しく体験できる絵本。

## いつも仲間といっしょ エナガのくらし

[文一総合出版]  
東郷 なりさ(作)  
江口 欣照(写真)  
2,200円



エナガはいつも仲間と一緒にくらしています。ひとりでは生きていけません。季節によつてはほかの鳥と群れになることもあります。それはなぜなのか、身近な小鳥であるエナガの一年のくらしを、かわいらしい写真満載で紹介した写真絵本。

## ぼくのなかみはなにでできるのか

[金の星社]  
かさい まり(作)  
おとない ちあき(絵)  
1,595円



小学4年生の場合は、みんなにからかわれている。しっかり者の女子にあきれられ、「ぼくの中身は、弱虫となき虫でできるんだ」と自分を分解して自信をなくす。母に強く抱きしめられ、自分を変える一歩を踏み出す。「なりたい自分」へと変わっていく物語。

## きこえないこえ

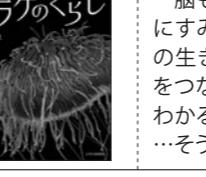
[俊成出版社]  
内田 鶴太郎(作)  
竹上 妙(絵)  
1,540円



象牙を目的に乱獲され、最後の一頭になつてしまつたアフリカゾウは、はるか沖にいる友のクジラにむかって静かに語り出します。仲間たちを次々と見送り、独りになつてしまつたゾウがクジラに伝えたかったことはー? 環境問題、絶滅危惧種について考える1冊。

## クラゲのくらし

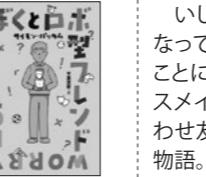
[少年写真新聞社]  
水口 博也(著)  
2,200円



脳も心臓ももないクラゲは、様々な場所にすみ、生きるために食事をして、時には他の生き物と共生をしながら、5億年前から命をつないできた。そんなクラゲのくらしうりがわかる写真絵本。クラゲは人間を刺す厄介者…そうしたイメージを変えてくれます。

## ぼくとロボ型フレンド

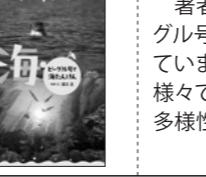
[あすなろ書房]  
サイモン・パッカム(著)  
1,980円



いじめられたことがきっかけで、パニックになつてしまつたジョシュは、母の都合で引っ越しすることになつてしまつた。新しい学校には、クラスメイトの中にロボットが! ? 少しずつ心を通わせ友達になっていく、ロボットと少年の成長物語。

## ビーグル号で海たんけん

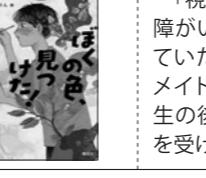
[アリス館]  
高久 至(写真・文)  
2,695円



著者の高久さんは、改造した古い車「ビーグル号」に乗って、日本全国の海の写真を撮っています。見た目は同じ海だけれど、海の中は様々です。北海道から沖縄まで、日本の海の多様性や魅力を楽しめる1冊です。

## ぼくの色、見つけた!

[講談社]  
志津 栄子(作)  
末山 りん(絵)  
1,650円



「視覚障がい」を隠して生活する信太郎は、障がいを受け入れられず反抗的な日々を送つていた。ある日、担任の平林先生が「クラスメイトに話をしないか?」と提案してくる。先生の後押しやゴッホの絵との出会いが、自分を受け入れるきっかけとなり成長してゆく。

## 動物の義足やさん

沢田 俊子(文)

[講談社]

1,650円

動物のための義足や装具を作る島田旭緒さん。これまでに作った装具は3万匹分。たつた一人で装具作りをスタートさせ、獣医師にアドバイスをもらいながら何度も作り直し、ついに専門家になった。試行錯誤しながら動物と向き合う姿に心が揺さぶられる。

## 鳥がおしえてくれること

鈴木 まるる(文・絵)

[あすなろ書房]

1,760円

むかしの人は、さえずる鳥や空を飛ぶ鳥を見て、何を感じたのでしょうか。服や家や道具、歌や踊りなど、身のまわりの色々な物や行動が、実は鳥からの影響だったかも…? 絵本作家にして鳥の巣研究家である著者のユニークな文化人類学入門絵本。

## ひき石と24丁のとうふ

大西 暢夫(作)

[アリス館]

1,760円

岩手県二戸の山奥で豆腐を作り続けるミナおばあさん。目の不自由な彼女が90歳を超えて、「ひき石」を回して豆腐を作ることにこだわる様子と思いを深く伝える写真絵本。働くことの尊さを感じられる作品です。

## ひろい海にぼくたちは生きている

長倉 洋海(文・写真)

[アリス館]

1,980円

「海は、だれの持ち物でもない。みんなのもの。」海に暮らす人々に出会い、海の恵みと境界のない生き方に気づかせてくれる写真絵本。国境や人とのへだたりのない「海」を心の中に持ちたいという作者の思いが強く伝わってくる。

## こそあどの森のひみつの場所

岡田 淳(作)

[理論社]

1,650円

あのとき見たことあつたこと。こづばにできないせいなこと。胸の中に秘めた大切な物語をみんなもてる…。こそあどの森のひとたちのひみつでないしょの7つの物語をおさめた短編集。「こそあどの森の物語」シリーズ誕生30年を記念した姉妹編2冊目。

## ブルーラインから、はるか

林 けんじろう(作)  
坂内 拓(絵)

[講談社]

1,540円

夏休みに入った図書館で小6のコタは小4の風馬に「自由研究を手伝ってほしい」と声をかけられた。生意気な風馬にいら立ちを感じつつも、家にいたくないコタは許可してしまう。その自由研究とは? 少年二人のひと夏の物語。

## ぼくたちのことをわすれないで ロビンギヤの男の子ハールンのものがたり

由美村 嘉々(作)  
鈴木 まるる(絵)

1,650円

ミャンマーの西部に住む少数民族、ロビンギヤの男の子ハールン。2017年、大規模な迫害を受け、難民キャンプにたどり着いた。ハールンの言葉を通して、ロビンギヤの人たちに起きたことや、難民キャンプでの子どもの現状を伝えている。

## ダンス★フレンド

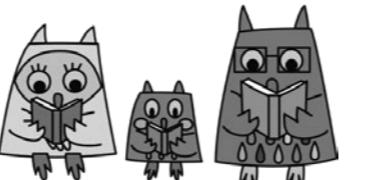
カミラ・チェスター(作)  
早川 世詩男(絵)

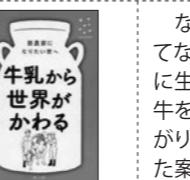
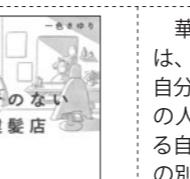
[小峰書店]

1,870円

場面かんもく症の少年レオの家のとなりに、おしゃべりな少女リカが引っ越してくる。リカには人に言えない秘密があるのだが…。言葉で苦労する二人が共通の楽しみであるダンスで、心を通わせていく友情の物語。

※掲載されている書籍の価格は税込価格です

<b>光の粒が舞いあがる</b> 蒼沼 洋人(著)	[PHP研究所] 1,430円	<b>みかんファミリー</b> 柳月 美智子(著)	[講談社] 1,760円
家庭や学校で思い通りにならないことがある中で、母子家庭の心愛と父子家庭のこはくはボクシングを通じて出会った。心愛はボクシングに打ち込むにつれて、人との関わりや自分の気持ちを伝えることの「勇気」を持つことができるようになっていく物語。			親同士の意気投合により同居することになった中学生の美琴と野々花。思いもよらぬ新生活で、これまで知らなかったお互いの一面を知り、喜びも悲しみも分け合えることに気づく。同居生活を通して成長していく二人と、みかんが美味しい未完成な家族の物語。
<b>王様のキャリー</b> まひる(著)	[講談社] 1,595円	<b>ピーチとチョコレート</b> 福木 はる(著)	[講談社] 1,650円
eスポーツトライマーで「王様」といわれているlionと、彼にハマっている勝生。ある日、病院で出会った二人がゲームを通して健常者と障がい者の間にある見えない壁を理解し合い、お互いを知っていく物語。お互いの気持ちがぶつかり合う場面が熱い。			体型にコンプレックスをもつ萌々とミックスルーツの外見に悩む莉愛。ヒップホップ教室で出会った二人はラップを習うこと。個性の異なる二人だったが、少しずつ理解し合い、友情を築く。ステージのシーンが圧巻。ルッキズムについて問う痛快な物語。
<b>ブロックでなんでもつくる！ビルダーの頭の中</b> 三井 淳平(著) 米村 知倫(イラスト)	[偕成社] 1,760円	<b>17シーズン 巡るふたりの五七五</b> 百舌 涼一(著)	[講談社] 1,650円
デンマーク生まれのレゴ®ブロックを使い、作品をつくる人を「レゴ®ビルダー」と呼びます。著者の三井さんは、自分で起業しレゴ®社から公式に認定された「レゴ®認定プロビルダー」です。「好き」を仕事にする極意と興味をほりさげる大変さを語る一冊。			過去のトラウマから引っ込み思案になってしまった音々。体育祭のスローガンを考案したことがきっかけで、クラスメイトの天神くんに俳句の世界に誘われる。無口な音々と完璧に見える天神くんの秘密とは。言葉の力を感じ、自分らしさを見つめ直す感動の物語。
<b>わたしは食べるのが下手</b> 天川 栄人(作)	[小峰書店] 1,760円	<b>学校に行かない僕の学校</b> 尾崎 英子(作)	[ボブロ社] 1,760円
会食恐怖症の葵、過食嘔吐の咲子。二人の中学生が給食の「完食月間」に給食革命を起こしていく中で、「食べられない」のは自分だけでなく、他の生徒たちにも宗教や家庭などの事情がある事を知る。彼女たちが食べものを美味しいと思えるまでの食育物語。			ある事がきっかけで学校に行かなくなった中学生の薫。不登校はいじめだけではなく、この年齢だからこそ、自分の中にある葛藤や悩みが原因のこともある。寮付きの森のフリースクールに行く事により、自分を閉じ込めていた事実と向き合い大人へと近づく物語。
<b>待ってろ！甲子園</b> 日比野 恭三(著)	~青島特別支援学校ベースボール部の挑戦~ [ボブロ社] 1,980円	<b>15歳の昆虫図鑑</b> 五十嵐 美怜(著) ゲレンデ、柏 大輔(イラスト)	[講談社] 1,650円
特別支援学校の高校生たちが甲子園を目指すことは不可能なのだろうか？それぞれの障がいと困難を乗り越えて、連合チームではなく単独チームとして甲子園を目指すまで。これまで無理だと思われていたことに挑戦した教師と生徒たちの熱いノンフィクション。			虫オタクの吉岡さんがクラスメイトを観察したら？悩み多き中学生たち4人は、良くも悪くも思ったことを率直に言ってしまう吉岡さんとの関わりで、ありのままの自分を受け入れていく。5人それぞれを昆虫の生態に例えた性格分析が秀逸。爽やかな物語。
<b>スラムに水は流れない</b> ヴァルシャ・バジャージ(著)	[あすなろ書房] 1,760円	<b>6days 遭難者たち</b> 安田 夏菜(著)	[講談社] 1,650円
インドの都市ムンバイのスラムでは水不足が深刻だ。日本では蛇口をひねると水が出る。これは世界規模でみると当たり前ではないことに気づく。水不足により争いが起こる都市で暮らす中学生が、家族や友達とともに学ぶことをあきらめずに未来を切り拓いていく物語。			山に登ることは100%自己責任。不十分な装備で登山を試みた元登山部の美帆たち女子高生3人は、誤った判断を続け、遭難した。無事帰還するために自分の命と向き合った6日間の物語。巻末に収録された山岳遭難防止アドバイザーによるおまけページも良い。
<b>加藤セチと女性科学者たち</b> 加藤 祐輔(著)	[玉川大学出版部] 2,750円	<b>僕は猛禽類のお医者さん</b> 齊藤 慶輔(著)	[KADOKAWA] 1,760円
家計を助けるために教師になり、北海道の北星女学校（現・北星学園中学高等学校）で教え、女性として初の北海道帝国大学（現・北海道大学）に入学。その後、さらに研究者として女性初の理化学研究所の主任となる。女性科学者、加藤セチの生涯の伝記。			釧路湿原野生生物保護センターで猛禽類の獣医師として働く著者の奮闘記。自然で生きる野生生物は人間の作ったものと、それにより破壊された環境でどのように生きているのか。これまでの自身の経験と研究から、人間と野生動物の共生について中高生に伝える。
<b>それはわたしが外国人だから？</b> 安田 菜津紀(著) 金井 真紀(絵・文)	[ハウレーカ] 1,980円		
'人間らしい生活をする」というあたりまえの権利を守られていない「外国ルーツ」の人々がいる。難民・移民・入管法は今、どんな問題を抱いているのか。四人の方への取材によるお話と、中学生にもわかりやすい「なぜ？」に答えるQ&Aで構成されている。			

<b>戦争は、</b> ジョゼ・ヨルジエ・レトリア(文) アンドレ・レトリア(絵)	[岩波書店] 2,200円	<b>わたしは、あなたとわたしの区別がつかない</b> [KADOKAWA] 1,650円
		「戦争は、自分がどこで恐れられ、歓迎されるのかを、よくわかっている」「戦争は、何も知らない人たちの柔らかな夢に入りこむ」。『戦争は、』の言葉でさし出される静かで禍々しい世界。ポルトガルを代表する文学者の詩と息子の絵で戦争の正体が暴かれる。
<b>牛乳から世界がかわる 酪農家になりたい君へ</b> [農山漁村文化協会] 1,760円		<b>新訳 ジョニーは戦場へ行った</b> [KADOKAWA] 1,496円
		なぜ牛乳を廃棄するの？バターが足りないなら捨てないで使えば？牛がのんびり食べている草は自然に生えているのではなく、種を蒔いて育てている！？牛を飼う仕事が内包する世界の大きさと複雑さと広がり。酪農の基本のキから魅力までを易しく解説した案内書。
<b>音のない理髪店</b> [講談社] 1,980円		<b>愛ちゃんのモテる人生</b> [河出書房新社] 1,848円
		華々しくデビューしたが次作が書けない新人作家は、聴覚障害者として自立を目指し、日本で初めて自分の理髪店を持った祖父を書くことにする。祖父の人生と聾者の親を持つ父と伯母、そして孫である自分の人生が綾をなす物語。話す、書く、手話の別表記が秀逸。
<b>私の最後の羊が死んだ</b> [小学館] 1,650円		<b>わたし、サイエンスエンターテイナーになる！</b> [WAVE出版] 1,650円
		別海の酪農家に生まれ、幼いころから家業を手伝い酪農家の過酷さを実感していた。大学時代に食べた羊肉の美味しさに魅せられ、羊飼いの仕事につく決心をする。「羊飼い作家」の誕生と、羊飼いをやめ作家としてのみ立つ道程を軽やかな筆勢で綴る自伝エッセイ。

※掲載されている書籍の価格は税込価格です

## どさんこ読書応援キャンペーン！

北海道青少年育成協会では、本を読む習慣のある子はもちろん、本に親しみのないこどもたちにも、本を身近に感じてもらい、本を読み、豊かな時間を過ごしてほしい思いから、**こどもたちに本をプレゼント**する「**どさんこ読書応援キャンペーン！**」を実施します。

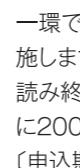
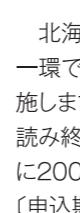


### 応募対象

道内の高校生以下のこどもたち

### 応募方法

- ① 200冊目録のプレゼント対象本（マーク）より、希望する本を選びます。
  - ② 「**どさんこ読書応援キャンペーン！**」サイトから、申込みします。（右下のQRコードよりアクセス）
  - ③ 申込み後、抽選により当選者が決定！ プレゼント本を発送します。
- \* 詳細は、「**どさんこ読書応援キャンペーン！**」サイトをご覧ください。



北海道日本ハムファイターズでは、2014年から行っている読書促進全道キャンペーン「グラブを本に持ちかえて」の一環で、株式会社パイロットコーポレーションが協賛のもと、「本を読んでファイターズを応援しよう！」キャンペーンを実施します。小学生を対象に夏休み期間前後で、目標冊数（1・2年生=10冊、3・4年生=8冊、5・6年生=6冊）を読み終えた児童にPILOT製文房具がプレゼントされるほか、希望者には、エスコンフィールド HOKKAIDOでの公式戦に200組400名が招待されます。本を選ぶ際には、「こどもたちに読んでほしい200冊」を参考にしてください。

〔申込期限=7月31日まで 詳しくは球団サイトをご覧ください。〕